

令和5年度3月定例教育委員会議事録

【日時】

令和6年3月13日（水）

開会 午後1時30分

閉会 午後4時00分

【会場】

辰野町民会館 103 学習室

【出席者】

9名

(辰野町教育委員会)

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

(事務局関係)

学校支援課長	小澤 靖一
学びの支援課長	福島 永
学校支援課長補佐	宮原 隆史
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

なし

2 協議

(1) 【非公開】 学校運営上の諸課題

(2) 【非公開】 教職員の人事異動（転出・転入予定者）

(3) 卒業証書授与式、入学式関係

①卒業証書授与式

a 校長退任・異動に関わる教育委員会告示

b 卒業式における教育委員会告辞

c お別れの式における教育委員会告示

③入学式

a 学校職員への校長着任に関わる教育委員会告示

b 始業式における校長着任に関わる教育委員会告示

c 入学式における教育委員会告辞

(4) R5年度末からR6年度初めの日程

①日程

②校長退任及び着任に関わる教育委員会の動き

(5) R6年度教育課程の方向 等

①児童生徒数、学級数

②教育課程

(6) その他

3 報告事項

(1) 市町村教育委員会連絡協議会（3月）報告

(2) その他

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

前回の教育委員会から間隔が短く、本日、2月教育委員会の議事録をお配り致しました。3月25日の合同教育委員会の際に、承認をお願い致します。

4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。いよいよ小中学校の卒業式が目前ですが、昨日の大雪は、少し季節を逆戻りさせた感がありました。しかし1週間後は春分です。

さて、辰野中学校では校歌額を全校で製作しました。今日の長野日報にも記事が載っておりましたが、校歌の歌詞一文字一文字を3年生が彫り、1・2年生は文字の無い背景の部分を担当、実質的には3年生の卒業制作という意味合いもあったと思います。この製作には、早い段階から指導助言を行っていただいた町内業者、関建さんの関わりが大きかったと思います。ありがとうございました。私まだ実物を見てはいませんが、楽しみにしています。これからずっと皆さんが仰ぎ見る校歌額ですが、十分に期待に応えられるものに仕上がったと写真から感じています。後ほど、関さんから感想なり、思いをお聴きできればと思います。

昨日、この町民会館にて、「郷土愛プロジェクトの会議」がありました。上伊那の経営者協会関係の方々、KOAを代表とする企業・商工会の方々、学校関係者から上伊那の各教育委員会関係者、上伊那広域連合の方々等、総勢50名程が集まり、今年度のキャリア教育のまとめを行いました。その会で、私と学校支援主事から、辰野町の郷土愛の醸成や学校支援ボランティアの活動について話をしましたが、参加者からは皆、辰野町の取り組みや学校を支える地域住民の姿に一様に驚いていました。私達は当たり前子ども達の郷土を学ぶ活動や、学校支援を行っていますが、上伊那の中では、どうも脅威のようです。「このエネルギーはどこから来るのか」、「前々から学校を支える地域の熱量が半端じゃない」等の声も聞かれました。

この町民会館のエントランスホールに「100円ガチャ」が設置されていますが、気づきましたか。「辰年辰野」を盛り上げる一つとして、1月に「辰年辰野のロゴ」を5種類作り、そのロゴの缶バッジを作成、100円で販売、売り上げを能登半島地震被災地に義援金として贈ろうというものです。大変な人気で、1日に3回程補充をしていますが、なかなか追いつきません。もう暫くは人気が続くと思いますが、よろしか

ったら教育委員の皆さんもどうぞ。5種類の缶バッジがありますが、その中に黒いケースに入った6番目のガチャ、シークレットガチャ、レアガチャもあります。

さて、今日の町教育委員会は今年度最後の定例教育委員会です。議事がございませぬ。協議として人事異動と卒業式・入学式関係が中心となります。それではよろしくお祈りします。

5 議事

なし

6 協議

(1) 【非公開】学校運営上の諸課題

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『学校の様子及び運営上の諸課題』『3月校長会資料』を提示。

(2) 【非公開】教職員の人事異動（転出・転入予定者）

- ・宮澤教育長、小澤学校支援課長より説明。
- ・資料として『辰野町内小中学校 教職員人異動名簿（県費）』『令和6年度町内小中学校一覧表（町費）』を提示。

(3) 卒業証書授与式、入学式関係

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『令和6年度 入学式における町教育委員会告辞』『校長退任および新校長着任に関わる教育委員の動き』を提示。各校の担当と告辞内容を確認。
- ・校長退任、新任校長着任に関わる教育委員の動きを確認。

(4) 令和5年度末から令和6年度初めの日程

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として「令和5年度末・6年度初めの教育委員会関係日程」を提示。
- ・年度末、年度始めの予定を確認。

(5) 令和6年度教育課程の方向

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として「令和6年度 学級編制と加配等」「辰野町内小中学校 令和6年度教育課程の方向」を提示。
- ・教育委員会目標『どの子にも居場所がある楽しい学校』、先生方への目標『我が子も入れたくなる学校』『我が子も入れたくなる学級』、児童生徒への願い『明日

も行きたくなる学校』。

- ・川島小…最後の1年という事で、単元内自由進度学習に挑戦していく。食育の推進。全校活動で一つの物を作り上げる。閉校記念事業で全校が地域と共に主体的に活動に取り組む。
- ・辰野西小…来年度も引き続き「誰もが認められる楽しい学校」を基本に教育課程に取り組んでいく。自己肯定感・有用感を高める支援をしていく。校内研究の重点「意欲」「追及」「定着」、学校行事・日課等で工夫・改善を図る。5・6年で教科担任制、4・5・6年生で算数の少人数学習をおこなっていく。
- ・辰野東小…グランドデザインは今年と同じ「子ども達の自律した姿を求めて」とする。「探求を楽しむ授業の構想」を研究の重点とする。
- ・辰野南小…学校目標「自ら進んで課題を見つけ、よりよく解決していく子ども」。教育課程の方向は、人との関わり、ふれあい、コミュニケーションの場を一層大切にする。
- ・辰野中…研究の重点として、生徒主体の取り組みを増やしていく。「問いから問いにつながる授業」～明日も学びたくなる授業づくりを目指して～を全校研究テーマとして設定。朝部活の廃止に伴う、スクールバス時刻の変更検討。制服の見直しを進めていく。

7 報告事項

(1) 市町村教育委員会連絡協議会（2月）報告

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『2月市町村教育委員会連絡協議会（報告）』を提示。

(2) その他

【A委員】

働き方改革と言われていますが、これはどうやっても無理で、やるべき事は沢山あり、子ども達は16時までいて、勤務時間があと45分しかない中で、準備をなさいと言われても難しい面があるのではないかと、昔から思っております。どうにかならないかなと思っておりますが、辰野西小学校が成績評価の為に今年5時間授業に延長したと書いてあるのですが、そういった工夫をしながら、どうなっていたのかというところを校長先生にみて頂きたいと思っております。5時間の授業を増やして、授業日数が少なくとも204というのは少ないので、210日とか増やして、5時間の授業を増やせば、楽になるのではないかと思います。なかなか難しいとは思いますが。

【小澤学校支援課長】

辰野中学校の飯島教頭先生が辰野中学校へ赴任以来、毎朝、ごみ拾いをして頂いた

という事で、町の衛生自治連合会で表彰が決まると思います。3月15日に町長から伝達して頂いて、生徒や先生方にご披露してもらえればと考えております。

もう1点、今回の町議会で、就学援助費の説明を致しましたが、去年、中学3年生で修学旅行に家庭の事情で行く事が難しかったケースに対して、4月に支給を前倒し支給して対応できたのですが、議員から2月に対象となる全員に支給したらどうかと言う主張をされましたけれども、本来の制度の趣旨ではなく、前倒し支給で対応できていたので、その方法を取ると説明しましたが、2月支給という事をさらに求められました。決して支給しないという事ではなく、年度が替わったところで支給して修学旅行に対応できますということで回答しております。1つ入学前学用品費というのも4月に支給しておりますが、こちらは入学する前に準備する為の準備金として、趣旨に沿って前年度に支給する事となっております。修学旅行は本来、行った人に対して実費分を精算後に支給するものですので、そこを基本としながら、援助対象世帯の方で、どうしても期限までの支払いができない方については対応できるように考えております。中学3年生の最終的な意向調査もここで終わるようですが、修学旅行費が未納になっている家庭が幾つかあるようです。その中で前倒し支給が必要な方については、学校と相談して対応したいと思います。

【福島学びの支援課長】

5年前から、オリンパスのところの発掘調査をしていて、埋蔵文化財センターから調査が終わったという事で、調査報告書が教育委員会にも1冊届いております。図書館にも置く予定です。調査が終わったので土器等を引き取って参りました。西小・東小の教室の1部を保管場所としてお借りしていて、新町の文化財調査センターは足の踏み場もないくらいになっているので、これから整理していきます。3月30日に調査を担当した方に報告会の機会を設けています。

それと直接、町の教育委員会に関係はありませんが、来年度より県の教育委員会の組織改正があり、スポーツ行政と文化財行政が県の知事部局に移管になるという事です。スポーツは知事部局の観光部に移管して、観光スポーツ部となります。文化財行政は現在教育委員会の文化財生涯学習課となっておりますが、それを生涯学習課に改めて、文化財部局を知事部局の県民文化部の文化振興課に設置するという事です。以前、組織の大改正があった時に、民間の文化財保護の団体が運動をして文化財という名前を残して、文化財生涯学習課となりましたが、いよいよ文化財という名前が長野県から消えるという事になります。安倍総理の時から文化財は観光の目玉にしなくては行けないという事で、長野県もその流れになってきているという事です。現在、下諏訪も文化財は町長部局に移管になっております。長い目で見るといずれ、スポーツと文化財は首長部局になるのではないかと考えております。文化財を使うは良いのですが、指定する、守っていく立場となると、観光面ではやってはいけない部分もある

と思いますので、県の動きを見ていきたいと思っております。

【小澤学校支援課長】

川島小学校の後利用の件ですが、地元の川島区の区長さんを中心にして、今後どうやって使っていくかという検討が始まっています。役場ではまちづくり政策課が音頭をとって進めておりますが、今の区長が今年度末までに川島小の今後の方向性を出したいという事でした。川島区を中心に役場の担当部署も入って検討委員会というものを立ち上げて検討していく前の段階で、検討準備会というものを関係者で進めてまいりまして、とにかく地元の皆さんは今年度末にという事で話を進めて参りましたけれども、12月に区民のアンケートを終えています。ここで農業を通じて村興しをしたいとして3年間のプロジェクトをしたいという事で、その中で川島小学校のあり方についても検討していきたいという提案が出てきています。ですので、3年位は川島小学校の具体的な検討は猶予をもらいたいとの話が出ています。検討委員会は新年度には立ち上げたいという話で、準備委員会の段階で区民の意向がグラフ化されているので、それを検討委員会に移行して、検討していくようです。

【B委員】

資産としては町部局になるのですか。

【宮澤教育長】

町となります。ですので、教育委員会が主になって、後利用のあり方検討はしません。意見を求められることがあれば、発言します。これは区ではなく、町が町の施設として考え、音頭を取っていかなくてはいけないと思います。

【小澤学校支援課長】

区を中心とした検討委員会でまとめたものを、町に提出していくとの事です。

【宮澤教育長】

今の区長が前のめりになって進めているので良いのだろうけれども、区長がここで変わるとどうなるだろうか。今までの流れを見ると区で方向性を出すのは難しいのではないかとも思います。